



花見交流 寄り添う心

水 沢

復興支援「絆の会」沿岸被災者ら招き

震災復興市民ボランティア「奥州♡絆の会」(渡辺明美代表)は18日、水沢区中上野町の陸中一宮駒形神社龍昇殿で「3・11を忘れない!!交流会」を開き、沿岸被災者とお花見や余興などを楽しみながら絆を強めた。

復興支援と震災記憶の風化を防ぐと、被災者と市民をつなぐボランティア活動を展開する同会。被災者や胆大正琴演奏を披露する避難者たち

江地区の避難者らを招いた交流会を毎年開いている。

今年の交流会には、招待した陸前高田市の被災者や避難者、会員合わせて約50人が参加。交流会を前に同神社で復興祈願を行い、桜の開花が進む水沢公園を散策した。

交流会で渡辺代表は「震災から6年11月、『つなげる、つなげる』をモットーに活動する中で温かな絆や縁に出会えた。つながりを大切に活動が続

けていきたい」とあいさつ。6年の活動を振り返るスライド上映も行われた。

胆江地区に避難する住民たちが大正琴の演奏や踊りを披露するなど、楽しいひとときを共有。金ヶ崎町内のみなし仮設に入居する小野寺亮子さん(75)「山田町」は「交流会を毎年楽しみにしている。花が好きなので桜を間近に見られて良かった。来年も参加したい」と笑顔を広げていた。